

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

中銀による予想外の利上げを受け、昨日のブラジル資産は引き続き堅調に推移。ドルレアルスポット相場は2.42台前半で取引が始まると徐々にレアル買いが優勢となり、一時2.39台前半まで下落。ボベスパ株式指数も前日比2.5%高まで上昇し、決選投票前の水準を取り戻した。

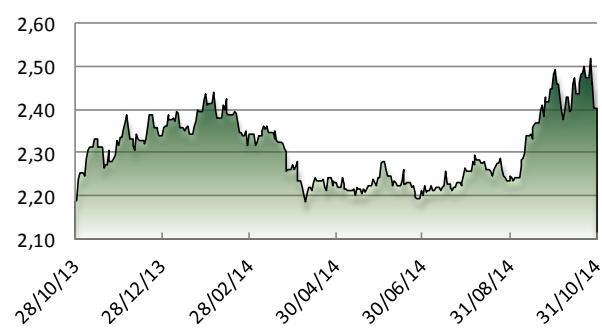
大方の市場予想に反し、中銀は25bpの利上げを実施。足許ではブラジル資産のポジティブな反応が継続しており、懸念されたルセフ再選による失望感の広がりも現在のところ見受けられない。市場は12月3日に予定されている次回会合での追加利上げを意識している他、新たな金融引締めサイクルの開始を予想する声も高まっている(この点を確認する上でも、11月5日公表の本会合に関する議事録に注目が集まる。特に声明文にて指摘された「相対的な価格調整の強まり」が何を意味するのか、中銀の意図をより具体的に把握する必要がある)。米国サイドでは10月28~29日に開催されたFOMCにおいて、市場予想通り150億ドルの買取減額が決定された(量的緩和第3弾の終了)。声明文では、労働市場の一段の改善が指摘された他(「相当な余剰労働力が存在している」との文言が「未使用資源は徐々に減少している」へ修正)、海外景気に対する減速懸念やドル高に対する警戒感についての言及も見られなかった。FOMC参加者の多くは、2015年半ばの利上げ開始というスケジュールを想定しており、マーケットは目先利上げに向けた動きを一層織り込むことが予想される。今後のドルレアルスポット相場の方向感を見極める上では、ルセフ政権の経済改革の先行きに加え、ドル高トレンドの強まりを考慮する必要がある。

マーケットデータ

Indicator	Unit	10月29日	10月30日	前日比	9月30日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	44,23	45,48	+1,25	44,78	+0,70
USD / BRL Spot	BRL	2,4619	2,4026	-0,0593	2,4469	-0,0443
USD / JPY Spot	JPY	108,89	109,21	+0,32	109,65	-0,44
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	51.049	52.337	+1.288	54.116	-1.779
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	156,3	151,5	-4,8	175,6	-24,1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,36	12,19	-0,17	12,31	-0,12
DI Future Jan16 (金利先物)	%	11,83	12,16	+0,33	11,95	+0,21
3 Months US Dollar Libor	%	0,233	0,233	+0,000	0,235	-0,002
CRB Index (国際商品指数)	Index	274,9	272,7	-2,2	278,6	-5,9

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

